

『もったいない』五話

マンション問題総合研究所
理事長 喜田大三

『物質の不足した時代』

戦時はもちろん戦後の一時期、生活物質の極端な不足を体験。今の高齢者は幼少から成人になるまで、『もったいない』(注)と云って物を非常に大切に使用しました。

(注)物の価値を十分に生かされておらず無駄になっている状態やそんな状態にしてしまう行為を戒める単語

『物質の豊かな時代』

四十数年前から資源やエネルギーを輸入して、高度経済成長をなすとげ、物質的に豊かで便利な生活ができるようになりました。

大量生産・大量消費・大量廃棄の社会では、種々の公害が発生し、地域や地球の環境に好ましくない。各種の環境対策が進められました。

2000年には、環境と経済の両立した持続可能な循環型社会をつくるため、『3R』の考え方を導入しました。

リデュース：ゴミ発生抑制

リユース：再使用

リサイクル：再資源化

『もったいない』という環境意識をもって、『3R』を推進しましょう。

『再生紙の偽装その後』

本誌の前号(85号)に、新年早々に発覚した再生紙の偽装事件を紹介。

「リサイクルの優等生」といわれてきた製紙会社が、再生紙の古紙配合率を表示より著しく少なくしていました。

4月25日、公正取引委員会は、古紙配合が表示より大きく下まわっていた製紙八社に、景品表示法違反で排除命令をだしました。

ア 一般消費者に偽装した事実を公示する。

イ 再発防止策を、役員および従業員に周知徹底する。ウ 今後、同様の表示を行わない。

前号で紹介した『グリーン購入法』では、国・自治体のコピー用紙の古紙配合率は100%。環境省は偽装され、基準を緩和する予定でした。

「配合率100%は技術的に難しい」と言っていた製紙会社のうち数社が可能にした。

6月5日に環境省は、少なくとも国のみ100%基準を維持する方針を固めました。

日本の古紙回収率70%・利用率60%は、世界のトップクラスです。『もったいない』の心で、古紙資源の回収に協力しましょう。

『外国女史・日本語に感銘』

04年に、ケニヤのワンガリ・マタイ女史は、アフリカの植林活動、民主主義と平和への貢献を評価され、アフリカ系女性として初のノーベル平和賞を受賞。

05年に、女史は京都の地球温暖化防止行事で来日。『ゴミの3R』に共感し、『MOTTAI NAII』の日本語を知って国際語にするキャンペーンを展開しています。

08年6月2日、宇都宮市で『もったいない』の心を世界に発信する「第2回もったいない全国大会inうつのみや」が開幕。マタイ女史は講演。地球温暖化の危機を紹介

し、「炭素を吸い、酸素を吐き出す森は地球の肺である。森林を守ることが極めて重要」と。

約2100人の聴衆は熱心に耳を傾けていました。

『船場の女将・涙の廃業』

有名な高級料亭の女将は、5月28日の記者会見で、廃業を涙ながらに発表。「食品の安全に対する信頼を裏切りました」と深く謝罪。

昨年末に産地偽装問題で世間をさわがせ、今年1月に女将が新社長に就任して再開。ところが、客の食べ残した料理を別の客に回していたことが発覚しました。

某元は「人情に厚い大阪人は再開を応援してあげようとしていたのに、料理の使い回しで再び客を裏切った。挽回の余地がない」

前社長が料理人に『もったいない』と言って、使い回しを指示していたとか。誠に不心得です。ソロバン勘定をやめて、料理の量調整とか客の持帰りを考えるべきであったと悔やまれます。

マンション再生のお手伝いをして四半世紀

あなたのマンションに新しい生命を吹き込みます

～Total Renewal～

大規模修繕から設備改修・内装リフォームまで充実したアフターメンテナンス体制で培った信頼が世代を超えた永いお付き合いを実現しています

 建装工業株式会社

マンションリニューアル事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋3-11-1
TEL 03-3433-0503 FAX 03-3433-0535
URL <http://www.kenso.co.jp/>

